

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

|              |  |
|--------------|--|
| 化学物質等の名称     | 兼商ステンレス  |
| 製品コード        | AK4202J  |
| 会社名          | アグロ カネショウ株式会社  |
| 住所           | 〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂ジャズタワー7F   |
| 電話番号         | 03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)  |
| 緊急時の電話番号     | 同上   |
| FAX番号        | 03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)  |
| メールアドレス      | <a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a> |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 農薬(殺菌剤)  |

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

|           |                             |                 |
|-----------|-----------------------------|-----------------|
| 物理化学的危険性  | 引火性液体                       | 区分外             |
|           | 自然発火性液体                     | 区分外             |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口)                    | 区分4             |
|           | 急性毒性(経皮)                    | 区分外             |
|           | 皮膚腐食性・刺激性                   | 区分1             |
|           | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性             | 区分外             |
|           | 皮膚感作性                       | 区分外             |
|           | 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)          | 区分2(血液系、腎臓、呼吸器) |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性                   | 区分1             |
|           | ※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」 |                 |

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

## 危険有害性情報

危険  
 飲み込むと有害  
 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷  
 血液系、腎臓、呼吸器の障害のおそれ  
 水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 指定された個人用保護具を着用すること。  
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
 必要な時以外は環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 口をすすぐこと。  
 皮膚(または髪)に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。  
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は

外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢  
 で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
 暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 漏出物を回収すること。

## 【保管】

施錠して保管すること。

## 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物  
 処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

| 単一製品・混合物の区別<br>成分及び含有量   | 混合物   |
|--|---|
| [有効成分1]<br>化学名又は一般名<br>分子式(分子量)<br>CAS番号:<br>官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法)<br>濃度又は濃度範囲 | アンバム<br>C <sub>4</sub> H <sub>14</sub> N <sub>4</sub> S <sub>4</sub><br>-<br>化審法: (2)-1841<br>安衛法: -<br>53.5% |
| [有効成分2]<br>化学名又は一般名<br>分子式(分子量)<br>CAS番号:<br>官報公示整理番号<br>(化審法・安衛法)<br>濃度又は濃度範囲 | エチレンジアミン<br>C <sub>2</sub> H <sub>8</sub> N <sub>2</sub><br>107-15-3<br>化審法: (2)-150<br>安衛法: -<br>2%          |
| [その他成分]<br>化学名又は一般名<br>濃度又は濃度範囲  | 水等<br>44.5%   |

## 4. 応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿<br>で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。  |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。<br>皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを<br>受けること。                              |
| 目に入った場合   | 直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを<br>着用して容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける<br>こと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける<br>こと。 |
| 飲み込んだ場合   | 無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせ<br>ること。  |

## 5. 火災時の措置

|             |   |
|-------------|---|
| 消火剤         | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類                          |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状放水  |
| 特有の危険有害性    | 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生<br>するおそれがある。           |
| 特有の消火方法     | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。<br>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 |
| 消火を行う者の保護   | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を                          |

着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具  
および緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者  
以外の立入を禁止する。  
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護  
措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、  
粉塵等を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

風上から作業し、風下の人を待避させる。  
流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を  
起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化方法・機材

回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収  
させる。  
漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、  
保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体  
換気を行う。

安全取扱い注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

ミストの吸入を避けること。

適切な保護具を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

接触回避

技術的対策

混触危険物質

保管条件

データなし。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

2~49℃の範囲で保管する。

直射日光を避け低温の場所に密栓して保管する。

開封時、液が噴き出すことがあるので注意する。

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置を設置すること。

管理濃度

設定されていない。

許容濃度

(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2009年版)

設定されていない。

ACGIH(2010年版)

設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

液体

色

黄色

pH

9~10

比重(密度) 1.22(20℃)

## 10. 安定性及び反応性

安定性 通常の条件下では安定。  
 危険有害反応可能性 通常の条件下では安定。  
 避けるべき条件 高温  
 混触危険物質 酸化剤、酸  
 危険有害な分解生成物 通常の条件下では生成しない。  
 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラット雌LD50 1238mg/kgに基づき、区分4とした。  
 経皮 ラットLD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。  
 皮膚腐食性・刺激性 ウサギを用いた試験において、腐食性がみられたことから、区分1とした。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 ウサギにおいて刺激性がみられたが、軽微であったことから区分外とした。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 皮膚感作性： モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 コイ96時間LC50値1.7mg/L、ミジンコ48時間EC50値1.0mg/L  
 藻類72時間EC50値0.031mg/Lであったことから区分2とした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 IMOの規定に従う。  
 UNNo. 3082  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant yes  
 航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。  
 UNNo. 3082  
 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
 Class 9  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant yes  
 国内規制 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。  
 特別安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
 重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

農薬取締法 第21504号  
 化学物質排出把握管理促進法 第1種指定化学物質：

(PRTR法)  
労働安全衛生法

エチレンジアミン (1-59)  
通知対象物質  
エチレンジアミン

## 16. その他の情報

### 財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。

処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

| 中毒110番                 | 一般市民向け       | 医療機関専用有料電話<br>(1件につき2,000円) |
|------------------------|--------------|-----------------------------|
| 大阪<br>(365日, 24時間対応)   | 072-727-2499 | 072-726-9923                |
| つくば<br>(365日, 9~21時対応) | 029-852-9999 | 029-851-9999                |

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。